

森のせんせいといっしょに木となかよしになろう

伊勢市立^{そうち}佐八小学校



森のせんせいからの木の話



五感を使って校庭の樹木観察



木の葉っぱを使った作品づくり



1・2年生全員の作品

ねらい

- ・校庭や学校周辺の樹木について、五感を使って葉や枝の様子を観察し、身近な自然に興味や関心を持つ
- ・集めた葉っぱを使って工作を行い、自然の素材を活かした造形活動を楽しむ

取組内容

- ①小枝や木片で木のおいをかぎました。きつにおいやさわやかなにおい、木の種類によってもにおいがちがうことを発見しました。
- ②校庭に出て様々な樹木を観察し、葉っぱを集めました。手でさわったり虫めがねで見たりして形や色、手ざわりのちがいを楽しみました。
- ③集めた葉っぱを台紙に貼り、動物や顔などを作りました。

(児童の感想)

- さいしょ、木のおいをかいでみたら、きつにおいがしました。でもこすってみたら、ちょっといいにおいになりました。こうさくはむずかしいところもあったけど、たのしかったです。いろいろなきれいな葉っぱが見つかったので、うれしかったです。
- はっぱをあつめるのがたのしかったです。はっぱをはるのも、たのしかったです。学校にひいらぎがあったのでつかいました。こうさくをするのがたのしかったです。学校にはいろいろな葉っぱがありました。こんなに葉っぱがあるとはしりませんでした。

【先生のコメント】身の回りの自然について改めて目を向けることによって、気づきや学びを促し、興味や関心をもたせることができました。個々の自由な発想を活かして、のびのびと造形活動を楽しむこともできました。継続して実施することによって活動を充実発展させていきたいです。

内容	・樹木観察 ・葉っぱを使った工作
時間	2時間(図工科)
場所	校庭、1階ワークスペース
対象	1年生3人 2年生14人
講師	森のせんせい：藤川和彦氏
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業